

- 問1 山形県の西ノ前遺跡から出土した「縄文の女神」に代表される、縄文時代に作られた土製の人形について、その名称と当時の人々が込めた願いの組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------|----------------------------|---------------------------|-----------------------|
| 1. 埴輪 — 亡くなった王の権威を示し、供養するため | 2. 銅鐸 — 稲作の豊作を願う祭りの道具とするため | 3. 勾玉 — 魔除けや身分を示す装飾品とするため | 4. 土偶 — 豊かな収穫や安産を祈るため |
|-----------------------------|----------------------------|---------------------------|-----------------------|
- 問2 北海道やその周辺地域において、樹皮を加工した繊維で織られた「アットゥシ」と呼ばれる伝統的な衣服や、独自のアイヌ語といった文化を継承してきた、法律によって日本の先住民族と明記されている人々を何と呼びますか。 (2026年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|----------|---------|
| 1. 琉球民族 | 2. 渡来人 | 3. アイヌ民族 | 4. 大和民族 |
|---------|--------|----------|---------|
- 問3 縄文時代に見られる「土偶」と、後の古墳時代に見られる「埴輪」を比較した説明として、正しいものはどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 土偶は、大陸から伝わった金属器の影響を受けて作られたが、埴輪は日本独自の土器文化から発展した石製品である。 | 2. 土偶は、古墳の内部に副葬品として納められたが、埴輪は住居跡から発見されることが多く、日常的な食器として使われた。 | 3. 土偶は、弥生時代に稲作が伝わった際に祭祀用として広まったが、埴輪は縄文時代に集落の守り神として置かれた。 | 4. 土偶は、豊かな収穫や安産などのまじないのために縄文時代に作られたが、埴輪は古墳の主の供養や魔除けとして古墳時代に作られた。 |
|--|---|---|--|
- 問4 縄文時代に作られた、人間をかたどった特徴的な土製品である「土偶」について、この道具が作られた主な目的として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--|----------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 古墳の周囲に並べ、死者の霊を慰めたり境界を示したりするために作られた | 2. 食料を保存したり、煮炊きを行ったりするための日常的な容器として作られた | 3. 豊かな収穫や安産などを祈るための、信仰の道具として作られた | 4. 大陸から伝わった稲作の技術を広めるための儀式的道具として作られた |
|---------------------------------------|--|----------------------------------|-------------------------------------|
- 問5 青森県にある三内丸山遺跡をはじめ、日本各地の縄文時代の遺跡から見つかる「土偶」について、その製作背景や当時の生活の様子を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 王や豪族といった有力者が現れ、巨大な前方後円墳が築かれた際に、死者を弔うために作られた。 | 2. 本格的な稲作が広まり、収穫した米を保存するための高床倉庫や金属器が普及する中で、魔除けとして作られた。 | 3. 縄文土器が作られ、狩猟や採集による定住生活が行われる中で、食物の豊作や多産を祈るために作られた。 | 4. 大陸から伝わった仏教の教えが広まり、寺院の本尊として拝むために精巧に作られた。 |
|---|--|---|--|
- 問6 縄文時代に作られた土偶の中には、わざと体の一部を壊した状態で発見されるものがあります。このような特徴から推測される、土偶が作られた目的として最も適切なものはどれですか。 (2023年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 大陸から伝わった高度な彫刻技術を模倣しようとして、失敗したものを廃棄した残骸。 | 2. 病気や怪我のある部分を壊すことで、その痛みを土偶に引き受けてもらおうとする身代わりの願い。 | 3. 土器を作る技術が未熟であったため、焼成の過程で自然に壊れてしまうことを前提とした観賞用。 | 4. 集落間の争いにおいて、倒した敵の姿を土偶に投影し、戦勝を記念して破壊する儀礼用。 |
|--|--|---|---|
- 問7 縄文時代の人々が、食物の豊作や子孫の繁栄、あるいは病気や怪我の治癒などを願うための信仰として用いた、女性をかたどった土製の像を何と呼びますか。 (2023年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|--------|
| 1. 埴輪 | 2. 銅鐸 | 3. 土偶 | 4. 石包丁 |
|-------|-------|-------|--------|
- 問8 縄文時代における食生活の工夫と、それに伴う住環境の変化について述べた文として正しいものはどれですか。 (2016年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 大陸から伝わった稲作が広まったことで食料の余剰が生まれ、それを保管するために高床倉庫が普及した | 2. 青銅器や鉄器などの金属器を用いて効率的に食料を生産するようになり、外敵を防ぐための環濠集落が作られた | 3. 狩猟・採集による食料確保に加え、土器で煮炊きを行うことで食べられるものが増え、堅穴住居での定住が進んだ | 4. 氷河期が終わり温暖になったことで大型動物が絶滅したため、移動を繰り返しながら洞窟で暮らすようになった |
|--|---|--|---|
- 問9 青森県に位置する縄文時代最大級の集落跡についての記述です。この遺跡では、直径約1メートルもの栗の木の柱を用いた巨大な掘立柱建物跡や、当時の人々が居住した大型のたて穴住居跡が数多く発見されています。この遺跡の名称として正しいものを選びなさい。 (2024年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|---------|-----------|---------|
| 1. 吉野ヶ里遺跡 | 2. 岩宿遺跡 | 3. 三内丸山遺跡 | 4. 登呂遺跡 |
|-----------|---------|-----------|---------|
- 問10 縄文時代から弥生時代にかけての住居の構造について、地面を掘りくぼめる方法が取られた主な理由として、当時の生活環境から考えられる説明として最も適切なものはどれか。 (2017年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|--|
| 1. 床を地面から高く離すことで、収穫した穀物の湿気を防ぐため | 2. 床を地面より低くすることで、室内の温度を一定に保ちやすくするため | 3. 大規模な灌漑施設を作る際、土を掘り出す作業と同時に建築するため | 4. 仏教の影響を受け、寺院の建築様式にならって地面に直接柱を立てないようにするため |
|---------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|--|
- 問11 日本の東北地方、現在の青森県に位置する縄文時代を代表する遺跡について、その名称と時代の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2023年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------|------------------|----------------|------------------|
| 1. 三内丸山遺跡 — 弥生時代 | 2. 三内丸山遺跡 — 縄文時代 | 3. 登呂遺跡 — 弥生時代 | 4. 吉野ヶ里遺跡 — 弥生時代 |
|------------------|------------------|----------------|------------------|
- 問12 三内丸山遺跡の調査結果から推測される、縄文文化の生活や社会の様子について正しく説明しているものはどれですか。 (2024年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 前方後円墳などの巨大な墳墓が築かれ、広域を支配する強力な王権が誕生していた。 | 2. 大陸から青銅器や鉄器が伝わり、武器や祭具として使用されることで集落間の争いが激化した。 | 3. 豊かな自然環境を背景に、狩猟・採集・漁労を行いながら大規模な定住生活を営んでいた。 | 4. 大規模な灌漑設備を用いた水田稲作が普及し、食料を蓄えるための高床倉庫が主流となった。 |
|---|--|--|---|
- 問13 縄文時代の遺跡から数多く出土する、主に女性をかたどったとされる土製の像を何と呼びますか。自然の豊かな実りや、病気・けがの回復を願うまじないの儀式に使われたと考えられているものを選びなさい。 (2023年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|--------|
| 1. 埴輪 | 2. 土偶 | 3. 銅鐸 | 4. 石包丁 |
|-------|-------|-------|--------|